

人類のレ

たべることのよこび。

たべられないことのかなしみ。

ごく普通にたべてこられたことの幸福。

みんながたべていられることのしあわせ。

大好きな人がよろこんでくれるごちそう。

それが創りだせたときのうれしさ。

—— 君は今日、何を食べましたか？

今日、食べ物を食べられなかった人たちはどれくらいいる？

戦争の中で、飢餓の中で死んでいった人たちは一体、

最後に何を食べたいと思ったのでしょうか？

Staff wanted

出演者・スタッフ募集！

演劇初心者も歓迎。

詳しくは裏面をご覧ください。

Stage

2016.10.14 Fri.
18:30~20:30

10.15 Sat.
17:00~19:00



問い合わせ先
メールアドレスの
読み込みはこちら

主催：早稲田大学文化企画課
早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター
あくど〜社会とつながる演劇プロジェクト〜
(平山郁夫記念ボランティアセンター公認学生団体)
タブラ・ラサ

企画責任者：石野由香里
(早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター助教)

問い合わせ先：yukarishino@aoni.waseda.jp (石野由香里)

出演者・スタッフ募集

小野講堂でプロの役者・作曲家と一緒に舞台を創れます。

早稲田文化芸術週間に行う予定の公演の出演者・スタッフ等を募集しています。主要キャストはプロの役者さんたちですが、学生達で構成する新しいシーンも作ります。作曲家ともコラボします。音楽と物語が生まれる瞬間に立ち会えます。学生の個性に合わせて、作家が作品も書いてくれます。

初心者大歓迎。演劇を創るプロセスに興味のある方、舞台を通して社会的課題を考え、発信したい方など、是非ご一緒しましょう。詳細は下記の通りです。

早稲田大学で本企画を行う意義

- (1) プロの役者やスタッフと協働する機会を学生に提供する。
- (2) トークやワークショップなど学生企画による参加型のプログラムを組み込む。
- (3) WAVOC学生達との協働。

企画意図

長い間、人類にとって食料と性の獲得と支配はゼロゲームの様相であった。それをめぐって、人は殺し合い、だまし合い、競い合ってきた。その分配は必ず、公平と平等をうたうイデオロギーによって保障されてきたが、いつも必ず裏切られてきた。圧倒的に持つ者と持たざる者、そこに存在する残酷なヒエラルキーを提示する。

こんなあなたを求めています

- ・出演したい
 - ・演劇ワークショップやシアタートークの企画をしたい。
 - ・演じることで自分が他者の視点を獲得する経験をしてみたい。
 - ・スタッフとして関わりたい。
- (制作、プロデュース、当日司会、広報、撮影、その他こまごまとした裏方作業色々あります)
- ・何が出来るか分からないけど、自分の特技を活かしてみたい

応募条件

- (1) 出演者
9月下旬から始まる平日の稽古に参加できること(不都合の場合は応相談)。
- (2) スタッフ
メンバーの都合に合わせて6〜7限や昼休みにミーティングを行いますが、必ず出席しなくても出来る範囲での参加で大丈夫です。公演当日のみの手伝いなども歓迎。

応募方法

本フライヤー表面の「問い合わせ先」メールアドレスまで、

- ① 学部・学科
- ② 学年
- ③ 学籍番号
- ④ 氏名

を明記し、上記企画に参加を希望する旨をお知らせ下さい。
なお、メールタイトルを『「人類のレシビ」出演者・スタッフ応募』として下さい。

締め切り：6月30日(木) 17:00まで